

海軍公報 (部内限) 第三千七百二號

海軍大臣官房

昭和十六年一月二十一日(火)

○令 達

官房機密第三八二號 昭和十七年機密第一二八八二號ニテ本號廢止
 當分ノ間特設海軍經理部長ノ所掌ニ屬スル收入及經費ノ取扱區分ハ海軍會計規程第三十九條ノ規定ニ拘ラズ別表ノ通定ム

昭和十六年一月十五日

海軍大臣

(別表二葉添)

官房機密第三八三號

當分ノ間中華民國在勤帝國大使館附武官ニ要スル經費ノ支出及之ヨリ生ズル收入竝ニ會計事務ノ監督ハ第一海軍經理部長ヲシテ之ヲ掌理セシム

昭和十六年一月十五日

海軍大臣

官房機密第三八四號

昭和十七年機密第一二八八二號ニテ本號廢止
 漢口海軍特務部、第一遣支艦隊軍法會議、第一遣支艦

隊囚禁場、第一海軍軍用郵便所及第二海軍軍用郵便所ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ハ第一海軍經理部員ヲシテ之ヲ掌理セシム

昭和十六年一月十五日

海軍大臣

官房機密第三八五號

昭和十一年官房機密第二七一五號、同十三年同第六一七號、同十四年同第六一〇二號ノ二、同十五年同第六四二九號ノ三及同年同第八〇四三號ハ之ヲ廢止ス

昭和十六年一月十五日

海軍大臣

(參照) 昭和十一年官房機密第二七一五號ハ艦隊經費分任出納官吏ノ件、同十三年同第六一七號ハ第一病院ニ要スル經費掌理ノ件、同十四年同第六一〇二號ノ二ハ特設海軍航空廠ニ要スル經費掌理ノ件、同十五年同第六四二九號ノ三ハ第一海軍工作部ニ要スル經費掌理ノ件、同年同第八〇四三號ハ上海海軍航路部ニ要スル經費掌理ノ件ナリ

海軍公報 (部内限) 第三千七百二號

昭和十六年一月二十一日

七九

(限 廢止 部)

0585

官房第二三六號

昭和七年官房第四七九號、同十二年同第五〇八二號、同十三年同第四四七〇號及同十四年同第四九四號ノハ之ヲ廢止ス

昭和十六年一月十五日

海軍大臣

(參照)

昭和七年官房第四七九號及同十二年同第五〇八二號ハ上海駐在武官ニ於テ艦船經費ノ支拂ヲ爲シ得ル件、同十三年同第四四七〇號ハ上海駐在武官ノ經費整理ノ件、同十四年同第四九四號ノ六ハ支那地方在勤武官ノ經費ハ方面艦隊經費支拂トスルノ件ナリ

官房第三二二號

港用品經理規程第九條又ハ特令ニ依リ貸與シタル挂燈浮標ニ要スル「アセト・アセチレン」瓦斯ハ消耗拂トシ供給スルコトヲ得

昭和十六年一月二十一日

海軍大臣

○ 通牒

艦本第一四號ノ二四四

昭和十六年一月十七日



關係各廳長殿 昭和七年官房第二三六號ノ官房第一四號ノ二四四ノ件ハ、海軍艦政本部長ニ依リ、本官署ニ消滅ノ通知ヲ爲シ、海軍徵用工員ニ生活資金貸付方ノ件通牒

(別紙)

官房第二七號(昭和十六年一月七日決裁)

海軍徵用工員ニ生活資金貸付方ノ件仰裁

海軍徵用工員ハ其ノ家庭ノ實情如何ニ拘ラズ徵用スルヲ原則トスル關係上軍港都市其ノ他一般社會ノ居住生活ノ現狀ニ照シ徵用時ニ於テ下宿料其ノ他ノ生活費ニ不自由ヲ來スモノ尠カラザルヲ豫想セラルルヲ以テ生活並ニ精神上ノ安定ヲ計リ作業能率ノ低下ヲ防止スルノ必要アルニ付左記要領ニ依リ海軍共濟組合資金ヲ以テ貸付スルコトニ取計ヒ可然哉

記

海軍共濟組合徵用工員生活資金貸付要領

一、貸付ノ範圍

海軍徵用工員規則第四條第一號該當者以外ノ徵用工員ニシテ資金ノ貸付ヲ必要ト認ムル者ニ對シ入廠ノ際一回ヲ限ル

三、貸付条件及償還

- 1、金額 三十圓以内トス
- 2、利息 無利息トス
- 3、償還

(イ) 貸付ノ翌月ヨリ六箇月以内月賦均等トス
 毎月官ヨリ受クル諸給與金ヨリ控除ノコト、
 (ロ) シ控除方ヲ其ノ屬スル應ノ給與課長又ハ之ニ準
 ズベキ者ニ委任セシメ官ヨリ受クル給與金ナキ
 トキ又ハ不足ナルトキハ順次翌月以後ニ順延ス
 ルモノトス

(ハ) 定期賞與、加給等ハ臨時償還ニ充當セシムル
 コトヲ得
 (ニ) 徴用解除又ハ死亡シタルトキハ其ノ際之ヲ完
 済セシム

三、貸付事務及會計報告

海軍共済組合貸付部規則ノ定ムル各應共済組合貸付
 部ニ於テ之ヲ取扱ヒ其ノ會計整理ハ同貸付部ニ屬セ
 シム

四、其ノ他

貸付手續其ノ他ハ海軍共済組合貸付部規則ヲ適用ス

航本機密第四八〇號

昭和十六年一月二十日

海軍航空本部長

佐世保、廣海軍工廠長
 海軍航空技術廠長 殿

航空兵器修理材料供給ノ件通牒

昭和十五年航本機密第三四四六號首題通牒中軍艦千歲
 ノ項「三〇〇圓」ヲ「六〇〇圓」ニ改ム

(参照 昭和十五年四月十二日海軍公報(部内限))

横鎮機密第九一號ノ三

昭和十六年一月十四日

横須賀鎮守府

關係各部御中

第二十五掃海隊各艇略稱制定ノ件
 第二十五掃海隊各艇ノ略稱ヲ左ノ通定ム

略	稱	固有船名
第二五一號掃海艇	金剛丸	
第二五二號掃海艇	鳴尾丸	
第二五三號掃海艇	第五朝洋丸	

第二五四號掃海艇 第三朝洋丸

○ 辭令

廣徳丸 船長 若竹 直吉
 同 一等運轉士 井内 三次
 同 同 高橋 武之門
 同 機關長 山本 三造
 同 一等機關士 福原 幸七
 同 同 吉岡 福一郎
 同 二等運轉士 湯本 清
 同 通信局長 小鷹 恒雄
 (以上昭和十二年九月十九日附)
 廣徳丸 三等運轉士 里村 元行
 (昭和十二年十月七日附)
 廣徳丸 二等運轉士 野田 順四郎
 (昭和十三年六月十日附)
 廣徳丸 船長 工藤 密吉
 (昭和十三年八月二十六日附)
 廣徳丸 二等運轉士 荒谷 保
 (昭和十四年四月三十日附)

廣徳丸 一等運轉士 井内 三次
 (昭和十四年六月五日附)
 廣徳丸次席一等運轉士 白川 信海
 (昭和十四年十二月二日附)
 廣徳丸 一等運轉士 河室 止
 (昭和十五年九月十九日附)
 廣徳丸 一等運轉士 吉田 富雄
 (昭和十五年十一月九日附)
 (海軍省)
 廣徳丸ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス
 廣徳丸 一等機關士 福原 幸七
 (昭和十二年十一月十五日附)
 廣徳丸 船長 若竹 直吉
 (昭和十三年八月二十六日附)
 廣徳丸 一等運轉士 高橋 武之門
 (昭和十三年十月七日附)
 廣徳丸 二等運轉士 野田 順四郎
 (昭和十四年一月七日附)
 廣徳丸 一等運轉士 井内 三次
 (昭和十四年五月二日附)
 廣徳丸 三等運轉士 里村 元行
 (昭和十四年六月七日附)

0588

廣徳丸 二等運轉士 湯本 清 <small>(昭和十四年十一月一日附)</small>	佐世保海軍建築部醫療業務囑託 石塚 宏
廣徳丸次席二等運轉士 荒谷 保 <small>(昭和十五年一月二十日附)</small>	第一海軍建築部ニ於ケル醫療業務ヲ囑託ス 但シ報酬年額貳千八百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
廣徳丸次席一等運轉士 白川 信海 <small>(昭和十五年四月二十日附)</small>	同
廣徳丸 一等運轉士 井内 三次 <small>(昭和十五年九月十九日附)</small>	同
廣徳丸 一等運轉士 河室 止 <small>(昭和十五年十一月九日附)</small>	同
廣徳丸 一等機關士 吉岡 福一郎 <small>(昭和十五年十一月十四日附)</small>	同
廣徳丸ニ於ケル事務囑託ヲ解ク <small>(同)</small>	第二海軍建築部ニ於ケル醫療業務ヲ囑託ス 但シ報酬年額貳千八百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス <small>(以上同)</small>
<small>(各通)</small>	支那方面艦隊事務囑託ヲ解ク 佐藤 誠
海軍省事務兼第二遣支艦隊事務囑託ヲ解ク <small>(同)</small>	佐藤 誠
海軍省事務兼第二遣支艦隊事務囑託ヲ解ク <small>(同)</small>	第二遣支艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス 但シ報酬年額貳千貳百八拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
吉永 起大	從四位勳四等 大谷 益次郎

海軍公報 (部内限) 第三千七百二號 昭和十六年一月二十一日

0589

(各通)

正八位 遠田 秀夫

海軍ニ於ケル製鋼業務囑託ヲ解ク

弘瀬 光枝

專賣局部長 永井 勻

海軍省事務ヲ囑託ス(以上三語同)

○ 雜 款

○司令旗掲揚

第四掃海隊司令ハ一月十五日司令旗ヲ第四十一號掃海艇ニ掲揚セリ

○司令潜水艦復歸

第三十三潜水隊司令ハ司令潜水艦ヲ一月十七日呂號第六十三潜水艦ヨリ呂號第六十八潜水艦ニ復歸セリ

○司令驅潛艇指定

第六十二驅潛隊司令ハ一月十五日司令驅潛艇ヲ桂丸ニ指定セリ

○郵便物發送先

當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

司令宛 第四一號掃海艇 各東舞鶴郵便局 氣付
隊機關長宛 第四五號掃海艇
隊主計長宛 第四一號掃海艇

(第四掃海隊)

第十一航空艦隊司令部(舊第一聯合航空隊司令部)宛
當分ノ間 鹿兒島縣肝屬郡鹿屋町
鹿屋海軍航空隊内 司令部

第二十二航空戰隊司令部宛

二月七日迄ニ到達見込ノモノハ

鹿兒島縣出水郵便局氣付

松永部隊司令部

富士川丸、木曾丸宛

自今

東舞鶴郵便局氣付

須磨ノ浦丸宛

一月二十四日迄ニ到達見込ノモノハ

吳郵便局氣付

其ノ後ハ

東舞鶴郵便局氣付

當病院宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

記

普通郵便物及小包

佐世保郵便局氣付

航空郵便物

第八海軍軍用郵便所氣付

(第二海軍病院)

第三根據地隊司令部宛

自今

横須賀郵便局氣付 三〇四七

0590

<p>第三防備隊宛 自今 横須賀郵便局氣付 三〇四三</p>	<p>第七航空隊宛 自今 横須賀郵便局氣付 三〇四六</p>	<p>○事務開始 第三通信隊ハ一日十五日海軍水雷學校ニ於テ事務ヲ開始セリ</p>	<p>○事務所撤去 第四掃海隊準備員事務所ヲ一月十五日撤去セリ 第二防備隊設立準備事務所ヲ一月十五日撤去セリ 追テ郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度 記 東舞鶴郵便局氣付 乾隆丸防備隊</p>	<p>○特設運送船甲谷陀丸行動豫定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地名</th> <th>着</th> <th>發</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西戸崎</td> <td>一月十五日</td> <td>一月十六日</td> </tr> <tr> <td>吳阪</td> <td>十八日</td> <td>十八日</td> </tr> <tr> <td>大須賀</td> <td>十九日</td> <td>二十日</td> </tr> <tr> <td>横須賀</td> <td>二十二日</td> <td>二十五日</td> </tr> <tr> <td>佐世保</td> <td>二十九日</td> <td>三十日</td> </tr> <tr> <td>西戸崎</td> <td>三十一日</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	地名	着	發	西戸崎	一月十五日	一月十六日	吳阪	十八日	十八日	大須賀	十九日	二十日	横須賀	二十二日	二十五日	佐世保	二十九日	三十日	西戸崎	三十一日	
地名	着	發																							
西戸崎	一月十五日	一月十六日																							
吳阪	十八日	十八日																							
大須賀	十九日	二十日																							
横須賀	二十二日	二十五日																							
佐世保	二十九日	三十日																							
西戸崎	三十一日																								

海軍公報(部内限)第三千七百二號 昭和十六年一月二十二日

0591

別表第一

(昭和十六年一月二十一日海軍公報(部内限))

歳入徴收官及収入官吏並ニ収入取扱區分表		
歳入徴收官	収入官吏	収入區分
第一海軍經理部長	第一海軍經理部部員	支那方面艦隊(第二遣支艦隊ヲ除ク)ノ官衙ノ収入及支那方面艦隊經費ノ返納金
第二海軍經理部長	第二海軍經理部部員	第二遣支艦隊ノ官衙ノ収入
第四海軍經理部長	第四海軍經理部部員	第四艦隊ノ官衙ノ収入

0592

別表第二

(昭和十六年一月二十一日海軍公報(部内限))

支出官及同代理官並ニ所掌經費區分表		
支 出 官	支 出 官 代 理 官	所 掌 經 費
第一海軍經理部長	第一海軍經理部部員	支那方面艦隊(第二遣支艦隊ヲ除ク)ノ官衙ノ經費及支那方面艦隊經費
第二海軍經理部長	第二海軍經理部部員	第二遣支艦隊ノ官衙ノ經費
第四海軍經理部長	第四海軍經理部部員	第四艦隊ノ官衙ノ經費

備考

一 特設海軍經理部長ハ官衙ノ經費支拂ノ爲必要ニ應ジ資金前渡官吏ヲ命ズルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ速ニ海軍大臣ニ報告スルモノトス

二 支那方面艦隊經費ニ付テハ第一海軍經理部部員ヲ主任出納官吏、第一及第二海軍經理部支部長、各經理部(第四海軍經理部ヲ除ク)部員一名、馬公要港部經理部勤務ノ主計科士官一名並ニ當該艦船部隊主計長ヲ分任出納官吏トス

0593

○ 艦船所在 △印ハ「ハカ」ノ
指定ヲ要セズ

○ 一月二十一日午前十時

【横須賀】

山城▲、赤城▲、劍埼▲、春日▲、駒橋、
神威▲、天龍▲、曙▲、潮▲、朧▲、雷▲、澤風▲、
伊六▲

宗谷、尻矢

(翔鶴)▲、(津輕)▲、(伊二三)▲、(伊一七)▲、
(伊三三)▲

【長浦】

磯風、浦風

伊一三三、伊一二四
驅潜二三

【横濱】

龍田

【浦賀】

(香椎)▲、(筑紫)▲、
(萩風)▲、(濱風)▲

【鳥羽】

多摩

【大湊】

伊五二
哨三四▲、哨三五▲

【小樽】

大泊

【吳】

淺間、妙高▲、扶桑▲、勝力▲、三隈▲、
薄雲▲

伊五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲、
伊五八▲、伊六一▲、伊七一▲、伊七三▲

伊一二三、伊二二一
驅潜五三▲

【大阪】

日進▲、(伊九)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、
球磨▲、隱戸▲

【神戸】

(谷風)▲、
大井▲

【玉】

(瑞鶴)▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二二)▲、
(伊二二)▲、(伊二五)▲、(伊三一)▲、
(石垣)▲、
三日月▲

【因ノ島】

驅潜五二、驅潜五二

【舞鶴】

哨三一、哨三二、哨三三
吾妻▲、長良▲、木曾▲

【佐世保】

哨三六、哨三七
(野分)▲、
羽黒▲、金剛▲、榛名▲、瑞鳳▲、衣笠▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、伊三九▲、
伊六〇▲、伊五九▲、伊六五▲、伊六八▲、
哨三八▲、哨三九▲

【鎮海】

(八丈)▲、(伊一八)▲、(伊二四)▲、(伊二九)▲、
朝顔▲、芙蓉▲

作樂地) 出雲、伏見、安宅、比良、二見、熱海、鳥羽、
勢多、壱田、保津、隅田、橋立、足尾、
占守、嵯峨、名取、磐手、長門、

0594

陸奥、▽日向、伊勢、▽比叡、霧島、▽加古、古鷹、青葉、▽阿武隈、▽川内、▽龍驤、鳳翔、▽千歲、千代田、瑞穂、▽高雄、愛宕、鳥海、摩耶、▽那智、▽熊野、鈴谷、最上、▽利根、筑摩、▽神通、▽那珂、▽加賀、▽飛龍、蒼龍、白鷹、初鷹、蒼鷹、▽鹿島、▽沖島、常磐、▽夕張、▽迅鯨、▽香取、大鯨、▽長鯨、▽五十鈴、▽嚴島、八重山、▽北上、▽由良、能登呂、栗、梅、蓮、刈萱、峯風、▽春風、旗風、松風、朝風、▽文月、皐月、水無月、長月、▽若葉、初春、初霜、子日、▽白露、時雨、有明、夕暮、▽初雪、白雪、吹雪、▽白雲、東雲、叢雲、▽綾波、浦波、磯波、敷波、▽夕霧、狹霧、天霧、朝霧、▽秋風、羽風、太刀風、夕風、▽帆風、沙風、▽菊月、卯月、夕月、▽追風、疾風、夕風、朝風、▽響、曉、電、▽漣、▽早潮、夏潮、親潮、▽黑潮、▽初風、雪風、天津風、時津風、▽葎、霞、陽炎、不知火、▽夕立、村雨、春雨、五月雨、▽朝雲、山雲、峯雲、夏雲、▽海風、涼風、江風、山風、▽大潮、荒潮、滿潮、朝潮、▽睦月、如月、望月、彌生、矢風、沖風

▽呂三四、▽呂三三、▽呂六二、▽呂六〇、▽呂六一、▽呂六三、▽呂六四、▽呂六八、▽呂六五、▽呂六六、▽呂六七、▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、伊四、伊七、伊八、

【航海中】

石廊 (十二月十七日桑港發—吳—)
 知床 (十四日横須賀發—佐世保—)
 沼風、野風、波風 (十六日大湊發—陸奥海灣—)
 八雲、鬼怒、▽吳竹、若竹、早苗、▽掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、哨四六 (二十日吳發—伊豫灘—)

▽伊一五、伊一六、伊二〇、▽伊五五、伊五四、▽伊五六、伊五七、▽伊六二、伊六四、▽伊六六、▽伊六九、伊七〇、▽伊七二、▽伊七四、伊七五、▽鴻、隼、鶴、鵠、▽雁、鳩、鷺、雉、▽初雁、真鶴、友鶴、千鳥、掃一七、掃一八、▽掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、▽掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、▽驅潛一、驅潛二、驅潛三、▽驅潛四、驅潛五、驅潛六、▽驅潛七、驅潛八、驅潛九、▽驅潛一〇、▽驅潛一一、驅潛一二、明石、鳴戶、鶴見、朝日、佐多、室戶、襟裳、攝津、間宮

0595

海軍公報 (部内限) 第三千七百三號

昭和十六年一月二十二日 (水)
海軍大臣官房

○令 達

官房機密第三三九號

昭和十五年官房機密第八一七二號中左ノ通改正ス

昭和十六年一月十四日

海軍大臣

特設海軍航空廠ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

特設海軍病院 (特定ノ艦船内ニ置カ) (レタルモノヲ除ク)	患者費支辨事項	院長
-------------------------------------	---------	----

附 則

本令ハ昭和十六年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

(参照) 昭和十五年官房機密第八一七二號ハ特設機關ニ於ケル契約
擔任區分ノ件ナリ

官房機密第四〇一號

昭和十五年官房機密第八一七〇號中左ノ通改正ス

昭和十六年一月十四日

海軍大臣

第二海軍經理部長ノ項通常物品會計官吏ノ欄中「在廣東第二海軍經理部部員」ヲ「在廣東第二遣支艦隊司令部附主計科士官」ニ改ム

(参照) 昭和十五年官房機密第八一七〇號ハ當分ノ開支那及南洋群島ニ於ケル糧食所屬物品ノ通常物品出納命令官、同會計官吏ニ之カ取扱地域區分ノ件ナリ

官房機密第四〇二號

昭和十五年官房機密第八一七四號中左ノ通改正ス

昭和十六年一月十四日

海軍大臣

第一號契約擔任官及契約擔任地域區分表中

在廈門第二海軍經理部部員	廈門以南汕頭ニ至ル支那沿岸
在廣東第二海軍經理部部員	汕頭以南(汕頭ヲ含マズ)ノ支那沿岸
在廣東第二遣支艦隊司令部附主計科士官	廈門以南(海南島ヲ含マズ)ノ支那沿岸

改ム

海軍公報 (部内限) 第三千七百三號 昭和十六年一月二十二日

八九

0596

(参照) 官房機密第八一七四號ハ當分ノ開作戦地等ニ在ル艦船部隊ニ要スル契約ニ付テハ合併契約ヲ爲スコトヲ得ルノ件ナリ

○通牒

官房機密第四七六號ノ二

昭和十六年一月二十二日

海軍省副官

各廳長 殿

侍從武官被差遣ノ件通牒

今般狀況實視ノ爲侍從武官侯爵醍醐忠重ヲ支那方面艦隊(第二遣支艦隊ヲ除ク)及旅順要港部へ被差遣候趣侍從武官長ヨリ通牒有之候

追テ同官ハ二月五日東京發各部署實視ノ上三月十一日頃東京歸著ノ豫定

航本機密第四九九號

昭和十六年一月二十日

海軍航空本部總務部長

海軍航空技術廠總務部長
佐世保 廣海軍工廠總務部長 殿

昭和十六年度航空兵器修理材料線上供給ニ關スル件照會

首題材料線上供給ニ關シテハ昭和十五年度所定年額ノ三分ノ一以内ノ標準ニテ艦船部隊ノ要求ヲ俟テ供給方取計相成度

追テ本材料供給ニ要スル豫算ハ航空兵器修理材料費増額(昭和十六年度航空兵器修理材料費ヲ夫レ丈ケ減額)方可取計ニ付供給濟ノ上ハ艦船部隊名及金額通知相成度

○辭令

軍令部部員海軍中佐 日高 震作

第三部勤務ヲ命ス

軍令部出仕海軍大尉 太田 守

第三部第八課勤務ヲ命ス

同 吉村 一友

第四部第十課勤務ヲ命ス(以上十部軍令部)

海軍中佐 日高 震作

參謀部第三部勤務ヲ命ス(十部大本營海軍部)

海軍中佐 大井 篤

第一課勤務兼第二課勤務ヲ命ス(十部海軍省人事局)

海軍中佐 藤谷 安宅(石垣)

同 佐藤 佐(艦本)

0597

海軍機關少佐 山上 實(同)

(各通) 海軍造船大佐 榊方 樽三郎(艦本監)

海軍機關特務中尉 小日向 武(石垣)

海軍豫備中尉 中島 汀藏(同)

海軍技師 福岡 武美(艦本監)

軍艦石垣審議委員ヲ命ス(海軍艦政本部)

海軍技手 稻富 勝一郎

在福岡首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(海軍航空本部)

海軍少佐 室井 捨治

海軍航空本部航空事故研究調査會委員ヲ命ス(同)

同)

○ 雜 款

○將旗一時移揚

第三航空戰隊司令官ハ一月九日將旗ヲ一時鳳翔ニ移揚同日復歸セリ

第十一航空艦隊司令長官ハ一月十八日將旗ヲ一時鹿屋海軍航空隊ニ移揚セリ

吳防備戰隊司令官ハ一月十九日將旗ヲ鬼怒ニ復歸シ、

同二十日一時八雲ニ移揚セリ

○將旗復歸

第一遣支艦隊司令長官ハ一月十九日將旗ヲ安宅ニ復歸セリ

○司令潜水艦變更

第二十潜水隊司令ハ一月十六日司令潜水艦ヲ伊號第七十三潜水艦ヨリ伊號第七十二潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送ニ關スル件照會

當委員(事務所)宛郵便物ニ對スル氣付ハ從來區々ニシテ爲ニ到達著シク遲延スルモノ多キ狀況ニ有之候條自今左記ニ依リ發送相成度

記

東京及其ノ近郷ヨリ發送ノモノハ

軍令部副官部氣付

追テ右氣付ハ公用至急ヲ要スルモノニテモ航空便

トスル必要無之ニ付申添候、

右以外ノ地ヨリ發送ノモノハ

臺北海軍武官室經由 第七軍用郵便所氣付 (大海佛派遣委員)

○正誤

本月二十日本欄「第十一航空艦隊司令官」ハ「第十一航空艦隊司令長官」ノ誤(濟)

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○一月二十二日午前十時

【横須賀】

山城▲、赤城▲、劍埼▲、春日▲、駒橋、
 神威、口鹿島、天龍、夕張、迅鯨、
 曙▲、潮▲、朧▲、雷▲、追風、疾風、夕風、
 朝風、伊六▲、睦月、如月、望月、彌生、
 伊六▲

宗谷

(翔鶴)▲(津輕)▲(伊二三)▲(伊一七)▲

(伊三三)▲

【長浦】

磯風、浦風
 呂六二、呂六〇、呂六一、呂六三、
 呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、
 呂六七、伊一二三、伊一二四、
 驅潜二三

哨一

尻矢

【川崎】

龍田

(香椎)▲(筑紫)▲

(萩風)▲(濱風)▲

【浦賀】

澤風

【館山】

伊五二

【大湊】

哨三四▲、哨三五▲

【小樽】

大泊

【吳】

淺間、妙高▲、扶桑▲、勝力▲、三隈

薄雲▲

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲

伊五八▲、伊六一▲、伊七一▲、伊七三▲

伊一二二、伊一二三

驅潜五三▲

【大 阪】

球磨▲

隱戸▲

谷風▲

大井▲

瑞鶴▲(伊一〇)▲(伊一九)▲(伊二二)▲

(伊二二)▲(伊二五)▲(伊三二)▲

(石垣)▲

三日月▲

因ノ島▲

驅潜五一、驅潜五二

哨三一、哨三二、哨三三

伊豫灘

八雲、鬼怒

吳竹、若竹、早苗

掃一三、掃一四、掃一五、掃一六

哨四六

吾妻▲、長良▲、木曾▲

哨三六、哨三七

野分▲

羽栗▲、金剛▲、榛名▲、瑞鳳▲、衣笠▲

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、伊三九▲

伊六〇▲、伊五九▲、伊六五▲、伊六八▲

【佐世保】

伊六〇▲、伊五九▲、伊六五▲、伊六八▲

海軍公報(部内限) 第三千七百三號 昭和十六年一月二十二日

九三

0599

【鎮海】
【作業地】

▷哨三八▲、哨三九▲
敷島▲、早瀬▲、野島▲
(八丈)▲(伊一八)▲(伊二四)▲(伊二九)▲
【鎮海】
▷出雲、▷伏見、安宅、比良、二見、熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、岡田、橋立、口足柄、古守、嵯峨、▷名取、▷磐手、▷長門、陸奥、▷日向、伊勢、▷比叡、霧島、▷加古、古鷹、青葉、▷阿武隈、▷川内、▷龍驤、鳳翔、▷千歲、千代田、瑞穂、▷高雄、愛宕、鳥海、摩耶、▷那智、▷熊野、▷鈴谷、最上、利根、筑摩、▷神通、▷那珂、▷加賀、飛龍、蒼龍、白鷹、初鷹、蒼鷹、▷沖島、常磐、▷香取、大鯨、▷長鯨、▷五十鈴、▷駿島、八重山、▷北上、▷由良、能登呂、栗、梅、蓮、刈萱、峯風、▷春風、旗風、松風、朝風、▷文月、卓月、水無月、長月、若葉、初春、初霜、子日、▷白露、時雨、有明、夕暮、▷初雪、白雪、吹雪、▷白雲、東雲、叢雲、▷綾波、浦波、磯波、敷波、夕霧、狹霧、天霧、朝霧、▷秋風、羽風、▷夕風、夕風、▷帆風、沙風、▷菊月、卯月、夕月、▷響、暁、電、▷漣、▷早潮、夏潮、親潮、黒潮、▷初風、雪風、天津風、時津風、▷霞、霞、陽炎、不知火、▷夕立、村雨、春雨、五月雨、▷朝雲、山雲、峯雲、夏雲、▷海風、涼風、江風、山風、▷大潮、荒潮、滿潮、朝潮、矢風、沖風

【航海中】

石廊 (十二月十七日桑港發—吳へ)
知床 (十四日横須賀發—佐世保へ)
神風、沼風、野風、波風 (十六日大湊發—陸奥海灣へ)
多摩、哨二 (二十日鳥羽發—東京灣へ)
▷呂三四、呂三三、▷伊二、伊一、伊三、伊五、伊四、伊七、伊八、▷伊一五、伊一六、伊二〇、▷伊五五、伊五四、伊五六、伊五七、▷伊六二、伊六四、伊六六、▷伊六九、伊七〇、▷伊七二、伊七四、伊七五
▷初雁、真鶴、友鶴、千鳥
掃一七、掃一八、▷掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、▷掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二
▷驅潜一、驅潜二、驅潜三、▷驅潜四、驅潜五、驅潜六、▷驅潜七、驅潜八、驅潜九、▷驅潜一〇、驅潜一一、驅潜一二
襟裳、攝津、間宮
明石、鳴戸、鶴見、朝日、佐多、室戸、襟裳、攝津、間宮

0600

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千七百四號

昭和十六年一月二十三日(木)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房第三五四號

昭和十六年一月二十二日

海 軍 大 臣

關係各所屬長官殿

昭 和 十 六 年 二 於 ケ ル 會 議 開 催 期 日 等 ノ 件
訓 令

昭 和 十 六 年 二 於 ケ ル 會 議 開 催 期 日 等 左 ノ 通 定 ム
關 係 諸 官 ヲ シ テ 會 議 開 催 ノ 前 日 迄 ニ 上 京 セ シ ム ベ シ
所 要 旅 費 ハ 別 途 之 ヲ 配 付 ス

會議名	開催期日	期間	参列者
參謀長會議	四月十六日	四日	各鎮守府、各要港部、 聯合艦隊内各艦隊參謀 長、支那方面艦隊參謀 副長
人事長會議	五月六日	三日	各鎮守府人事長
機關長會議	四月十六日	三日	各鎮守府、聯合艦隊内 各艦隊機關長

建築部長會議	五月八日	三日	各海軍建築部長(特設 海軍建築部長ヲ含マ ズ)、各海軍建築部出張 所首座職員
軍需部長會議	五月十二日	三日	各海軍軍需部長(特設 海軍軍需部長ヲ含マ ズ)、各要港部軍需部長
學校長會議	五月一日	三日	各海軍學校長、各海軍 練習聯合航空隊司令 官、横須賀、岩國各海 軍航空隊司令

官房機密第六二八號

支那事變中充員召集セラレタル下士官及兵ニシテ服役
ノ終期ニ達シ服役ヲ免ズベキ者ニ對シテハ海軍武官服
令第三條第一項第一號、海軍志願兵令第十四條第一項
第一號又ハ兵役法第十九條第一項第一號ノ規定ニ依リ
當分ノ間共ノ服役期間ヲ延長ス

前項ニ依リ服役期間ヲ延長シタル者ハ召集解除ノ翌日
ヲ以テ服役ヲ免ズルモノトス

昭和十六年一月二十三日
海 軍 大 臣

内 令 提
登 載

0601

海軍公報(部内限) 第三千七百四號 昭和十六年一月二十三日

九五

○通牒

兵備三機密第二〇號ノ三

昭和十六年一月二十三日

海軍省兵備局長

關係各廳長殿

第四艦隊關係郵便物及有線電報ニ關スル件
申進

客年十月十日附軍務二機密第一〇〇六號申進首題ノ件
別表所在地區別符及部隊區別符表中左記ノ通改メラレ
候條了知相成度

記

別表第二 部隊區別符表中末尾ニ左ノ通知ク追加ス

第二十四航空戰隊	五二
橫濱航空隊	五三
千歲航空隊	五四

艦本機密第一號ノ六一六

昭和十六年一月二十二日

海軍省軍務局長
海軍艦政本部長

關係各廳長殿

陸戰用無煙火藥火工兵器貯藏檢査規則廢止
ニ關スル件通牒

昭和十五年艦本機密第二七〇八號首題ノ件ハ之ヲ廢止
ス

參照 昭和十五年三月九日海軍公報(部内限)

○辭令

海軍少佐 久保田政太郎

高等軍法會議判士ヲ免ス

海軍大尉 吉村 一友

高等軍法會議判士ヲ命ス

海軍少佐 室井 拾治

東京軍法會議判士ヲ命ス(以上三名海軍省)
第一課勤務ヲ命ス(一名海軍省軍務局)

海軍技師 高木 博二

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(一名海軍航空
本部)

○雜款

0602

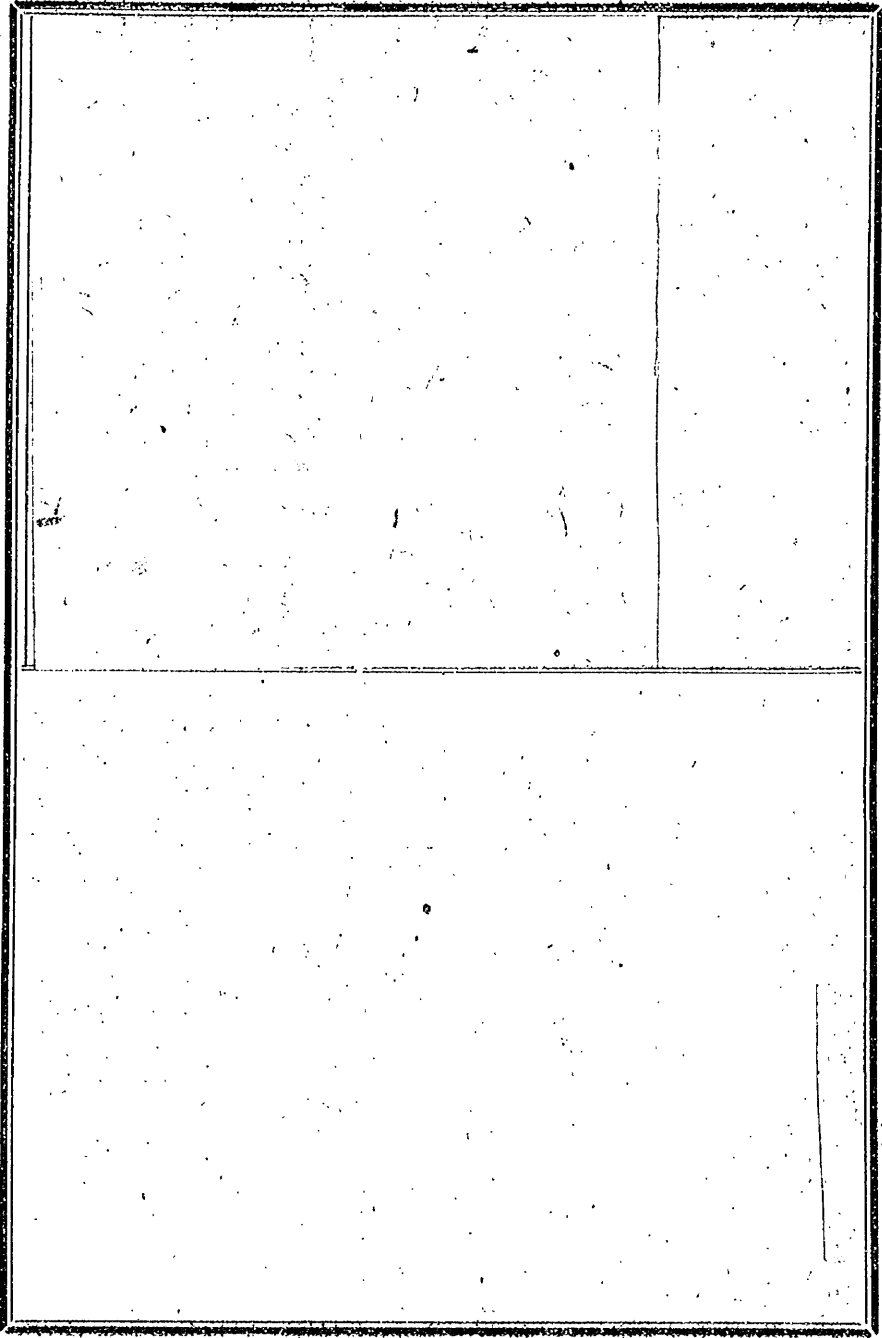
<p>○司令旗掲揚 第三掃海隊司令ハ一月十五日司令旗ヲ第三十五號掃海艇ニ掲揚セリ</p>	<p>○將旗移揚 第五根據地隊司令官ハ一月二十日將旗ヲ日海丸ニ掲揚、同二十一日福山丸ニ移揚セリ</p>	<p>○將旗一時移揚 吳防備戰隊司令官ハ一月二十一日將旗ヲ一時第四十六號哨戒艇ニ移揚セリ</p>	<p>○將旗復歸 第六艦隊司令長官ハ一月十六日將旗ヲ一時大鯨ニ移揚、同日香取ニ復歸セリ</p>	<p>第三潜水戰隊司令官ハ一月十五日一時將旗ヲ伊號第八潜水艦ニ移揚、同十七日五十鈴ニ復歸セリ</p>	<p>○事務開始 第一海軍病院ヲ一月十五日舊上海海軍特別陸戰隊病舎ニ設置シ事務ヲ開始セリ 追テ郵便物發送先左記ノ通</p>	<p>佐世保郵便局經由第一海軍軍用郵便所氣付 (第一海軍病院)</p>
<p>○事務所撤去 第三掃海隊準備員事務所ヲ一月十五日撤去セリ 追テ郵便物ハ自今左記ニ依リ送付相成度</p> <p>記</p> <p>司令官 宛 隊機長 宛 軍醫長 宛 主計長 宛</p> <p>第一鶚丸 第六博多丸 第三鶚丸 八幡丸</p> <p>各東舞鶴郵便局氣付</p>						

海軍公報(部内限)第三千七百四號 昭和十六年一月二十三日

0603

海軍公報(部内限) 第三千七百四號 昭和十六年二月二十三日

九八



0604

○艦船所在

▲印ハ「ホ」ヲ指定シ要セズ

○一月二十三日午前十時

【横須賀】

山城▲、赤城▲、劍埼▲、春日▲、駒橋、
神威、口鹿島、天龍、夕張、迅鯨、
曙▲、潮▲、龍▲、雷▲、追風、疾風、夕風、
朝風、陸月、如月、望月、彌生、
伊六▲

宗谷

（翔鶴）▲（津輕）▲（伊二三）▲（伊一七）▲
（伊三三）▲

【長浦】

磯風、浦風
呂六二、呂六〇、呂六一、呂六三、
呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、
呂六七、伊一二三、伊一二四、
驅潜一三

【川崎】

尻矢

【横濱】

龍田
（香椎）▲（筑紫）▲

【浦賀】

（萩風）▲（濱風）▲
澤風、沼風、野風、波風

【大湊】

伊五二
哨三四▲、哨三五▲

【小樽】

大泊

【吳】

淺間、妙高▲、扶桑▲、勝力▲、三隈、飛龍、
薄雲▲、菊月、卯月、霞
呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲、
伊五八▲、伊六一▲、伊七一▲、伊一二二、
驅潜五三▲

【大阪】

球磨▲、鬼怒▲、早苗▲
（日進）▲（伊九）▲（伊二七）▲（伊三五）▲
球磨▲、隱戸▲

【神戸】

大井▲、瑞鶴▲（伊一〇）▲（伊一九）▲（伊二二）▲
（伊二二）▲（伊二五）▲（伊三一）▲
（石垣）▲

【因ノ島】

三日月▲、驅潜五一、驅潜五二、
哨三一、哨三二、哨三三

【伊豫灘】

八雲、鬼怒、早苗
吳竹、若竹、掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、
哨四六

【舞鶴】

吾妻▲、長良▲、木曾▲
哨三六、哨三七
（野分）▲

【佐世保】

羽黒▲、金剛▲、榛名▲、瑞鳳▲、衣笠▲
呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、伊三九▲

海軍公報（部内限）第三千七百四號

昭和十六年一月二十三日

九九

0605

伊六〇、伊五九、伊六五、伊六八、
哨三八、哨三九

救島、早柄、野島、知床
(八丈) (伊一八) (伊二四) (伊二九)

【鎮海】朝顔、芙蓉
【作業地】出雲、安宅、伏見、比良、二見、熱海、

鳥羽、勢多、堅田、保津、岡田、橋立、
長門、陸奥、日向、伊勢、比叡、

霧島、加古、古鷹、青葉、阿武隈、
川内、龍驤、鳳翔、千歲、千代田、

瑞穂、高雄、愛宕、鳥海、摩耶、那智、
熊野、鈴谷、最上、利根、筑摩、神通、

那珂、加賀、蒼龍、白鷹、初鷹、蒼鷹、
沖島、常磐、香取、大鯨、長鯨、

五十鈴、嚴島、八重山、北上、由良、
能登呂

栗、梅、蓮、刈萱、峯風、春風、旗風、
松風、朝風、文月、皐月、水無月、長月、

若葉、初春、初霜、子日、白露、時雨、
有明、夕暮、初雪、白雪、吹雪、白雲、

東雲、叢雲、綾波、浦波、磯波、白雲、
夕霧、狹霧、天霧、朝霧、秋風、羽風、

太刀風、夕風、帆風、汐風、夕響、
曉、電、漣、早潮、夏潮、親潮、黑潮、

初風、雪風、天津風、時津風、霰、陽炎、
不知火、夕立、村雨、春雨、五月雨、

朝雲、山雲、峯雲、夏雲、海風、涼風、

江風、山風、大潮、荒潮、滿潮、朝潮、
矢風、沖風

呂三、呂四、呂三三、伊二、伊一、伊三、
伊五、伊四、伊七、伊八、伊一五、

伊一六、伊二〇、伊五五、伊五四、
伊五六、伊五七、伊六二、伊六四、

伊七三、伊七四、伊七五、
伊七六、伊七九、伊七〇、伊七二、

鴻、隼、鴨、鵠、雁、鳩、鷺、雉、
初雁、真鶴、友鶴、千鳥

掃一七、掃一八、掃六、掃一、掃二、
掃三、掃四、掃五、掃七、掃八、掃九、

掃一〇、掃一一、掃一二、
驅潛一、驅潛二、驅潛三、驅潛四、

驅潛五、驅潛六、驅潛七、驅潛八、
驅潛九、驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二

明石、鳴戸、鶴見、朝日、佐多、室戸、
襟裳、攝津、間宮

【航海中】
石廊 (十二月十七日桑港發—吳へ)
多摩、哨二 (二十日鳥羽發—東京灣へ)

0606

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 附録

昭和十六年一月二十三日 (木)
海軍大臣官房

昭和十五年八月九月中ニ於ケル艦船恩給年加算始終期等左ノ通 (海軍省軍務局)

阿武隈	由良	五十鈴	多摩	鳥海	艦船名		
.....	加算		
九	九	九	九	八	終始期		
一七	二二	二一	二一	八	期 (左) (右)		
佐世保	横須賀	同	横須賀	同	著地名		
南支方面		南洋		南支方面	行先		
戰地戰務		遠洋航海		戰地戰務	任務		
三月		三分月		三月	恩給	加算率 (二付)	
三月				三月	叙勳		
					記事		

海軍公報 (部内限) 附録

0607

瑞穂	千代田	千歳	神威	能登呂	飛龍	赤城	筑利摩根	川内	
九二二	九二〇	九二一	九二八	九二三	九二〇	九一五	九一七	八二二	八一七
同横須賀	同横須賀	同横須賀	同古仁屋	同佐世保	同馬公	同吳横須賀	同吳	同基隆	同馬公
南洋					南支方面	南洋	同	南支方面	
遠洋航海	第四艦隊				戰地戰務	遠洋航海	同	戰地戰務	
一三分月	一三分月				三月	一三分月	三月	三月	
					三月		三月	三月	

占守		出雲		磐手		常磐	駒橋	劍埼	迅鯨
八	八	八	八	九	九	九	八	九	九
三	二	二	七	一	一	二	一	二	五
同	馬公	同	佐世保	同	旅順	横須賀	横須賀	横須賀	同
南支方面		中支方面		北支方面				同	同
戦地戦務		戦地戦務		戦地戦務				同	同
三月		三月		三月				一 三分ノ 月	一 三分ノ 月
三月		三月		三月					

春風	朝風		神沼波野風風風風		沖風	峯風	鹿香島取	嵯峨	
								昭和 一五	
八	九	八	八	九	九	九	九	九	九
一	二八	二四	二〇	一三	一七	一四	八三一	一七	二四
馬公	同	同	基隆	大泊	横須賀	佐世保	寺島水道 大連	同	馬公
	南支方面						中支方面	南支方面	
	戰地戰務						同	戰地戰務	
	三月						三月	三月	
	三月						三月	三月	

海軍公報 (部内限) 附録

四

0610

海軍公報 (部内限) 附録

彌 生	如 月	陸 月	疾 風	追 風	旗 風		松 風					
九 二二	九 二一	九 二一	九 二四	九 二七	九 一一	八 二九	八 四	九 一	八 二六	八 一八		
横 須 賀	横 須 賀	横 須 賀	鎮 海	檜 津	雄 基	鎮 海	高 雄	馬 公	高 雄	同	基 隆	高 雄
			同	露 領 沿 海 州	同	同	同	南 支 方 面		南 支 方 面		
			同	外 國 鎮 戍	同	同	戰 地 戰 務			戰 地 戰 務		
			一 月 半	一 月 半	三 月	三 月	三 月			三 月		
			一 月 半	一 月 半	三 月	三 月	三 月			三 月		

五

0611

薄雲	東雲			叢雲			初白雪	吹雪	望月
八八基隆	九一	八二 八一	八一 一七	九一四	九八 八二	八一七	九一七	九二二 八二三	九二一 横須賀
	同	南支方面	馬公	同	馬基隆	馬公	南支方面	南支方面	南支方面
	同	戰地職務		同	戰地職務		戰地職務	遠洋航海	
	三月	三月		三月	三月		三月	一三分月ノ	
	三月	三月		三月	三月		三月		

夕霧		狹霧			天霧		浦波	白雲			
八	八	八	八	八	八	八	九	八	八	八	八
一六	一二	一八	一四	四	二二	一八	二二	一七	二八	二五	一七
高	馬	同	同	吳	高	馬	横	吳	同	基	馬
雄	公				雄	公	須			隆	公
南支方面		同	同	南支方面			南	南支方面			南支方面
戰地戰務		同	同	戰地戰務			遠洋航海	戰地戰務			戰地戰務
三月		三月	三月	三月			一三分月ノ	三月			三月
三月		三月	三月	三月				三月			三月

栗	涼江山海時自夕有			初	若		子		朝		
	風	風	風		霜	葉		日		霧	
一五											
九			九	八	九	九	八	八	九	八	
一一			一七	五	一四	一〇	一〇	四	二	二八	
基隆			佐世保	高雄	馬公	高雄	馬公	高雄	馬公	高雄	
			南支方面	同	南支方面		南支方面		南支方面		
			同	同	戰地戰務		戰地戰務		戰地戰務		
			三月	三月	三月		三月		三月		
			三月	三月	三月		三月		三月		

海軍公報(部内限)附録

鳩	雉			眞					鶴			
九八	九	九	九	八	八	九	九	九	八	八	八	九
一六	二四	六二	一二	二八	九	八	七	四	二二	一九	七	四
同旅順	同	同	同	同旅順	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	北支方面			南支方面
同	同	同	同	同	同	同	同	同	戰地戰務			戰地戰務
三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月			三月
三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月			三月

九

0615

(追加)

伊號第七 潛水艦	伊號第八 潛水艦	伊號第十五 潛水艦	伊號第二十 潛水艦	伊號第二十五 潛水艦	伊號第三十 潛水艦	伊號第三十五 潛水艦	伊號第四十 潛水艦	伊號第四十五 潛水艦	伊號第五十 潛水艦	伊號第五十五 潛水艦	伊號第六十 潛水艦	伊號第六十五 潛水艦	伊號第七十 潛水艦
昭和一五	昭和一五	昭和一五	昭和一五	昭和一五	昭和一五	昭和一五	昭和一五	昭和一五	昭和一五	昭和一五	昭和一五	昭和一五	昭和一五
九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
橫須賀	橫須賀	橫須賀	橫須賀	橫須賀	橫須賀	橫須賀	橫須賀	橫須賀	橫須賀	橫須賀	橫須賀	橫須賀	橫須賀
南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南
洋	洋	洋	洋	洋	洋	洋	洋	洋	洋	洋	洋	洋	洋
遠洋航海	遠洋航海	遠洋航海	遠洋航海	遠洋航海	遠洋航海	遠洋航海	遠洋航海	遠洋航海	遠洋航海	遠洋航海	遠洋航海	遠洋航海	遠洋航海
一三分月ノ	一三分月ノ	一三分月ノ	一三分月ノ	一三分月ノ	一三分月ノ	一三分月ノ	一三分月ノ	一三分月ノ	一三分月ノ	一三分月ノ	一三分月ノ	一三分月ノ	一三分月ノ

海軍公報 (部内限) 附録

一〇

0616

海軍公報 (部内限) 附録

掃海艇號	呂號第五十九潛水艦	呂號第三十三潛水艦	呂號第三十四潛水艦	伊號第三十四潛水艦	伊號第三十五潛水艦	伊號第三十六潛水艦	伊號第三十七潛水艦	伊號第三十八潛水艦	伊號第三十九潛水艦	伊號第四十潛水艦	伊號第四十一潛水艦	伊號第四十二潛水艦	伊號第四十三潛水艦	伊號第四十四潛水艦	伊號第四十五潛水艦	伊號第四十六潛水艦	伊號第四十七潛水艦	伊號第四十八潛水艦	伊號第四十九潛水艦	伊號第五十潛水艦
九	八	九	九	九	九	九	八	九	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
一四	一〇	二三	二三	二二	二三	二五	二〇	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五
高雄	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
南支方面	北露樺太沿岸領						南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南
戰地戰務	外國鎮戍						同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三月	一月半						三分ノ月	三分ノ月	三分ノ月	三分ノ月	三分ノ月	三分ノ月	三分ノ月	三分ノ月	三分ノ月	三分ノ月	三分ノ月	三分ノ月	三分ノ月	三分ノ月
三月	一月半																			

0617

早 鞆	石 廊			尻 矢	鶴 見			襟 裳	知 床				
八 一 一	九 二 三	九 一 三	八 二 六	八 五	九 一 四	九 二 三	九 一 六	九 二 八	九 一 一	九 八	八 三 一	八 五	
德 山	吳	德 山	横 須 賀	吳	横 須 賀	佐 世 保	德 山	馬 公	佐 世 保	横 須 賀	同	佐 世 保	横 須 賀
南 洋	同	露 領 オハ				中 支 方 面	南 支 方 面	露 領 オハ	中 支 方 面				
同	同	遠 洋 航 海				同	戰 地 戰 務	遠 洋 航 海	戰 地 戰 務				
一 三 分 月	一 三 分 月	一 三 分 月				三 月	三 月	一 三 分 月	三 月				
						三 月	三 月		三 月				

朝日丸			大泊	宗谷			室戸	鳴戸	
九	九	八	八	九	九	八	九	九	一五
一一	一二	二一	一一	二六	三一	一九	二二	二二	一四
旅順	同	佐世保	馬公	惠須取	同	敷香	横須賀	横須賀	
北支方面	南支方面			南洋	同	北樺太沿岸領	南洋	北米沿岸	
同	戰地戰務			遠洋航海	同	外國鎮戍	同	遠洋航海	(聯合艦隊)
三月	三月			一三分ノ月	一月半	一月半	一三分ノ月	一三分ノ月	
三月	三月				一月半	一月半			
									一年未滿

0619

旭光丸		極東丸		葛城丸				神川丸	
八	八	九	八	九	九	九	八	八	八
二四	一七	二五	二五	二一	一九	一四	一一	二二	一六
馬公	同		元山	高	馬公	佐世保	同	馬公	高
南支方面	中支方面		南洋	同	同	同	同	南支方面	
同	戰地戰務	(聯合艦隊)	遠洋航海	同	同	同	同	戰地戰務	
三月	三月		一三分月ノ	三月	三月	三月	三月	三月	
三月	三月			三月	三月	三月	三月	三月	
		一年未滿							

海軍公報 (部内限) 附録

總洋丸		首里丸				廣徳丸			
八	八	九	九	八	八	八	八	九	九
二七	九	一四	九	二一	一七	二五	一五	二七	一〇
馬公	高雄	同	同	同	同	佐世保	同	佐世保	馬公
同	南支方面	同	同	北支方面		中南支方面		同	南支方面
同	同	同	同	戰地戰務		戰地戰務		同	同
三月	三月	三月	三月	三月		三月		三月	三月
三月	三月	三月	三月	三月		三月		三月	三月

一五

0621

那智山丸				豊國丸		朝光丸	第三十六同丸		
九	九	八	八	九	一五	九	九	九	九
一二	九	二四	一四	八	四	一二	二八	二七	二二
基隆	同	高雄	三浦灣	同	基隆	佐世保	同	馬公	佐世保
同	同	南支方面		南支方面			南支方面		南支方面
同	同	戰地戰務		戰地戰務			戰地戰務		戰地戰務
三月	三月	三月		三月			三月		三月
三月	三月	三月		三月		/	三月		三月

(追加)

海軍公報 (部内限) 附録

萬光丸					白沙				日本海丸
九	九	九	九	八	八	八	八	八	(一四)一一一五
二七	二五	六	四	二〇	二〇	一九	九	七	ヨリ
同	同	同	高馬雄公	崎戸	佐世保	同	同	同	旅順
中南支方面	同	南支方面	中支方面		同	同	北支方面		中支方面
同	同	同	戦地戦務		同	同	戦地戦務		同
三月	三月	三月	三月		三月	三月	三月		三月
三月	三月	三月	三月		三月	三月	三月		三月

一七

0623

測 天		
八 一七	八 一六	八 二七
同	同	馬 公
同	南 支 方 面	
同	戰 地 戰 務	
三 月	三 月	
三 月	三 月	

昭和十五年六月中ニ於ケル艦船恩給年敍勳年加算始終期中ノ淺香丸ハ改版加算調書上卷ニ一、三五二頁ノ二ヲ設ケ記載シ索引ニ記入ノコト

○訂正 七月中ニ於ケル艦船恩給年敍勳年加算始終期中七頁二行目艦船名ノ欄「呂號第六十六潛水艦」トアルハ「呂號第六十五潛水艦」ノ誤（濟）

0624

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千七百五號

昭和十六年二月二十四日(金)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房機密第一一號ノ四

昭和十六年一月二十四日

海 軍 大 臣

各鎮守府司令長官殿
兵器簿ノ件通達

各艦船部隊學校兵器簿砲術長主管之部中左記ノ通改正ス

記

區分	類 別	品 名	改正事項	記 事
削除	各種囊砲	噴氣裝置	數量削除	砲身ニ附着拔トス (附屬其補用品ハ現 狀通)

○ 通 牒

官房第三九六號

昭和十四年官房第二二三五號歐文電報宛名略語中左ノ

通改ム

昭和十六年一月二十三日

海 軍 省 副 官

一、東京電信局登記ノモノ中「濟州或濟州郡」ノ次
ニ左ノ如ク加フ

Tuwamono Tokyo 海軍省兵備局長

(昭和十四年五月四日海軍公報(部内限)附録参照)

○ 辭 令

海軍大佐	日下部鐵治郎
同	末宗 重雄
同	岡田 次作
同	平田 良之
同	山崎 貞直
同	濱中 匡市
同	末廣 由巳

海軍公報(部内限) 第三千七百五號 昭和十六年一月二十四日

0625

購買名簿調査委員ヲ免ス 海軍少佐 北村喜三治	購買名簿調査委員ヲ命ス 海軍造兵中佐 平野 亮	購買名簿調査委員ヲ命ス 海軍少佐 室井 捨治	兵食研究調査委員ヲ命ス 海軍航空豫備學生採用試験委員ヲ命ス	實験研究制度調査委員(幹事)ヲ命ス 海軍機關大佐 浦野 角造	燃料政策調査委員ヲ命ス(以上一三三海軍省) 水路部附兼上海海軍航路部附海軍技師 棚橋 弟丸	水路部附兼上海海軍航路部附海軍書記 佐藤 三保太	水路部附兼上海海軍航路部附海軍編修書記 萩原 昇二	水路部附兼上海海軍航路部附海軍技師 石井 規矩次	水路部附兼上海海軍航路部附海軍技師 同 安藤 素	水路部附兼上海海軍航路部附海軍技師 同 脇屋 俊三	水路部附兼上海海軍航路部附海軍技師 同 福島 長次郎	水路部附兼上海海軍航路部附海軍技師 同 小川 兼三郎	水路部附兼上海海軍航路部附海軍技師 同 山口 清
<p>主トシテ兼務應ニ於テ服務スベシ(以上一三三海軍省 水路部長)</p> <p>同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同</p> <p>木下一三 田中 弘一 佐藤 富士達 諸岡 直巳 阿部 敏夫 渡邊 秀雄 流田 實 中山 瑠璃夫</p>													
<p>○雜款</p> <p>○郵便物發送先 大興丸宛 一月二十五日迄ニ到達見込ノモノハ 同 三十一日迄ニ同 其ノ後ハ 大阪市櫻島大阪鐵工所 吳郵便局氣付 小松島郵便局氣付</p> <p>○特務艦尻矢行動豫定 地名 着 横須賀 一月二十一日 發 川崎 一月二十三日</p>													

海軍公報(部内限)第三千七百五號

昭和十六年一月二十四日

一〇三

0627

吳	下	舞	吳	四	横
松	鶴	鶴	市	日	須
二十六日	二十九日	二月二日	二月七日	二月十四日	二月十四日
二十八日	三十一日	二月四日	二月八日	二月十三日	

○取消
 本月十八日日本欄郵便物發送先中美幌海軍航空隊宛へ取消ス(濟)

○正誤
 昨二十三日令達欄官房機密第六二八號中「海軍武官服令」ハ「海軍武官服役令」ノ誤(濟)

0628

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○一月二十四日午前十時

【横須賀】

山城▲、赤城▲、劍埼▲、春日▲、駒橋、
鹿島▲、天龍▲、夕張▲、迅鯨

曙▲、潮▲、龍▲、雷▲、追風▲、疾風▲、夕風、
朝風、伊陸月、如月、望月、彌生

伊六▲

宗谷

翔鶴▲

(津輕)▲

(伊二三)▲

(伊一七)▲

【長浦】

國後▲、多摩

磯風▲、浦風

呂六二、呂六〇、呂六一、呂六三、

呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、

呂六七、伊一二三、伊一二四

驅潜一三

哨一、哨二

【川崎】

尻矢

龍田

(香椎)▲

(筑紫)▲

【浦賀】

(萩風)▲

(濱風)▲

神風

沼風

野風

波風

伊五二

哨三四▲

哨三五▲

淺間▲

妙高▲

扶桑▲

勝力▲

三隈▲

飛龍

【吳】

淺間▲

妙高▲

扶桑▲

勝力▲

三隈▲

飛龍

【大阪】

球磨

隱戸

日進▲

(伊九)▲

(伊二七)▲

(伊三五)▲

榎野

驅潜五三▲

伊一二一

伊五八▲

伊六一▲

伊七一▲

伊一二二

伊一二三

伊一二四

伊一二五

伊一二六

伊一二七

伊一二八

伊一二九

伊一三〇

伊一三一

伊一三二

伊一三三

伊一三四

伊一三五

伊一三六

伊一三七

伊一三八

伊一三九

伊一四〇

伊一四一

伊一四二

伊一四三

伊一四四

伊一四五

伊一四六

伊一四七

伊一四八

伊一四九

伊一五〇

0629

海軍公報(部内限) 第三千七百五號 昭和十六年一月二十四日 一〇五

哨三八、哨三九

敷島、早瀬、野島、知床

(八丈) (伊一八) (伊二四) (伊二九)

【惠美須】

【鐵海】

【作業地】

朝顔、芙蓉、出雲、安宅、伏見、比良、二見、熱海、勢多、堅田、保津、隅田、橋立、鳥羽、古守、嵯峨、日向、伊勢、比叡、霧島、加古、青葉、阿武隈、川内、龍驤、鳳翔、千歲、千代田、瑞穂、高雄、愛宕、島海、摩耶、那智、熊野、鈴谷、最上、利根、筑摩、神通、那珂、加賀、蒼龍、白鷹、初鷹、蒼鷹、沖島、常磐、香取、大鯨、長鯨、五十鈴、嚴島、八重山、北上、由良、能登呂、神威、栗、梅、蓮、刈萱、峯風、春風、旗風、松風、朝風、文月、皐月、水無月、長月、若葉、初春、初霜、子日、白露、時雨、有明、夕暮、初雪、白雪、吹雪、白雲、東雲、叢雲、綾波、浦波、磯波、敷波、夕霧、天霧、朝霧、秋風、羽風、太刀風、夕風、帆風、沙風、夕月、響、曉、電、漣、早潮、夏潮、親潮、黑潮、初風、雪風、天津風、時津風、霞、陽炎、不知火、夕立、村雨、春雨、五月雨、朝雲、山雲、峯雲、夏雲、海風、涼風

江風、山風、大潮、荒潮、滿潮、朝潮、矢風、沖風

呂三三、呂三三、伊二、伊一、伊三、伊五、伊四、伊七、伊八、伊一五、伊一六、伊二〇、伊五五、伊五四、伊五六、伊五七、伊六三、伊六四、伊六六、伊六九、伊七〇、伊七二、伊七三、伊七四、伊七五

鴻、隼、鴨、鵠、雁、鳩、鷺、雉、初雁、真鶴、友鶴、千鳥

掃一七、掃一八、掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二

驅潛一、驅潛二、驅潛三、驅潛四、驅潛五、驅潛六、驅潛七、驅潛八、驅潛九、驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二

明石、鳴戶、鶴見、朝日、佐多、室戸、襟裳、攝津、間宮

【航海中】

石廊 (十二月十七日桑港發一吳)
大泊 (二十二日小樽發一久春内)

0630